



行動・常識スタートセット

おペリママの 声かけロードマップ

「できた！」が
増える声かけで、
お子さまの自信を
育てていきましょう♪

1 生活

今日の目標 まずは「1つだけ」意識してみましょう。

行動観察や生活習慣は、一度に全部できるようになるものではありません。

まずは、生活の問題集をお子さまと一緒に見ながら、

「何がおかしいかな？」と話してみてください。

例えば、食事の問題のページなら、

●背中が曲がっている ●足をぶらぶらしている ●ひじをついている

など、気を付けるポイントがたくさんあります。

でも、最初から全部できる必要はありません。

今日は、「ご飯を食べるときは背中をピンとしよう！」

というように、1つだけ目標を決めて食事を始めます。



おペリママの声かけ

途中でできなくなってしまうと、

叱る必要はありません。

私は、背中が曲がっていたらそっと背中を、

足が動いていたならそっと足をなでながら、

「さわさわすると、

お背中ピン！」の魔法だよ☆」

と声をかけていました。

本人が「できていない！」と責められるのではなく、

「あ、そうだった！」と気付けるようにすることを

意識していました。



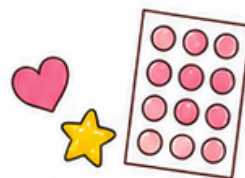
おペリママの考え

同じ目標を1週間ほど続け、

最後までできた日は、

シールやスタンプを貼って

一緒に喜んでいました。



2 工作

今日の目標 工作より「お話を聞くこと」を意識しよう！

工作には、「自由に作る工作」と「指示を聞いて作る工作」の2つがあります。

小学校受験では、このどちらか、または両方の力を見る問題が出題されることがあります。

そのため、おペリちゃんにも

「今日は自由に作る工作だよ。」

「今日は先生のお話をよく聞いて作る工作だよ。」

と、最初に伝えるようにしていました。



おペリママの声かけ

工作では、つい

「上手に描けたかな？」

「きれいに切れたかな？」

に目が向きがちです。

でも、我が家ではまず、

「どんなことをする問題だった？」

を一番大切にしていました。

例えば、「乗り物の絵を描きましょう」という問題なら、

描く前に「なんて言われたか覚えてる？」と聞いていました。



乗り物を
描くって
言われたよね！

おペリママの考え

もし、「乗り物を描く！」と

答えられたら、

工作の出来栄よりも、

「お話を聞いて理解できたこと」

をたくさん褒めるようにしていました。



3 運動

今日の目標 運動より「お話を覚えること」を意識しよう！

運動というと、「運動神経が良くない」と思われる方も多いかもしれません。

でも我が家では、運動が上手にできることよりも、

「お話を聞いて覚えること」を大切にしていました。

例えば、右手はグー 左手はパーという問題なら、まず

- 1 1番目は何をやるんだっけ？
- 2 次は？
- 3 最後は？



おペリママの声かけ

お話の内容や順番を覚えられていたら、

「よくお話を聞いて覚えていたね！」と、

その部分をたくさん褒めるようにしていました。



おペリママの考え

運動では、「できた・できなかった」よりも、

「先生のお話を聞いて覚えられたか」

を大切にすると、運動だけでなく工作にもつながっていきます。



おペリママの 声かけロードマップ

「できた！」が
増える声かけで、
お子さまの自信を
育てていきましょう！

4 常識

今日の目標 問題を生活につなげよう！

小学校は、おペリちゃんにとって初めて行く場所でした。
そのため、「何が良くて、何をしたらいけないのか」が、まだよく分かっていないと感じていました。
だから問題集を解くだけではなく、
「実際の場面ではどうする？」を親子でよく話すようにしていました。
例えば、「あいさつ」の問題なら、
「初めて会う先生には、どんなあいさつをする？」など、
実際の場面をイメージしながら話しました。



おペリママの声かけ

わざと悪いお手本を見せて、一緒に考えてみます。

「おはようございます……」
(小さい声)



おペリママの考え

問題集で答えを覚えるだけでなく、実際にやってみることで、
お子さまも印象に残りやすくなります。
とはいえ、小学校へ行く機会はそれほど多くないため、時間が経つと
忘れてしまうこともよくありました。
そこで我が家では、学校説明会や体験会へ行く前には、毎回この問題
集を見返しながら、「今日はどんなことに気を付けようか？」と親子で
確認する時間を作っていました。
マナーには気を付けることがたくさんありますが、子どもは最初から
全部を意識することは難しいものです。
そこで、「今日は挨拶だけはかっこよくやってみよう！」というように、
目標は1つだけ決めて学校へ向かいました。
1つできるようになったら、次はまた別の目標へ。
そんな風に小さな成功体験を積み重ねることが、自信にもつながって
いきました。



5 面接

今日の目標 まずは「言葉をたくさん出す」ことを意識しよう！

おペリちゃんは、「はい・いいえ」や「ブランコが好きです。」のような短い言葉では答えられても、
自分の考えを文章で分かりやすく伝えることが苦手でした。そこで最初から文章を作る練習はせず、
「質問に関係する言葉をたくさん出すこと」を大切にしていました。



おペリママの声かけ

例えば、「お手伝いは何をしていますか？」のとき
「お手伝いってどんなものがあるかな？」と聞き、
・お皿運び
・洗濯物をたたむ
・おもちゃを片付ける など、
思いつくことをたくさん話してもらいました。



おペリママの声かけ

また、「お友達と何をして遊びますか？」なら、
・鬼ごっこ ・ブランコ
・おにごっこ ・砂場
など、まずは遊びの名前を
たくさん出す練習をしました。



おペリママの考え

文章は、言葉の引き出しが増えると自然と作れるよう
になっていきます。そのため我が家では、「上手に話す
こと」よりも、「思いついたことをたくさん言葉にする
こと」を大切にしながら練習していました。



6 行動観察

今日の目標 「何をするか」より、「どうしてそうするのか」を考えよう！

行動観察では、「勝ちたい！」「自分がやりたい！」
「初めて会うお友達とどう接したらいいかわからない。」など、
その時の気持ちによって行動が変わることがあります。 おペリちゃんも同じでした。
だから我が家では、「行動観察は何のためにするのか？」ということ、を、まず最初に一緒に考えるようにしていました。



おペリママの声かけ

問題集の最初にもあるように、
「小学校ではどんなお友達になりたい？」
「どんな子だったら一緒に遊びたい？」という話を、
毎回取り組む前にしていました。
子どもは目の前のゲームや課題に夢中になると、
自分のことだけを考えてしまうことがあります。
それは決して悪いことではなく、自然なことですが、
だからこそ、「勝つことが一番大事かな？」
「チームのみんなはどう思うかな？」と、
その都度声をかけながら、一緒に考えました。



おペリママの考え

少しずつ基準ができてくると、
「これはやめた方がいいかな。」
「こうした方がみんなが嬉しいかな。」と、
自分で考えて行動できる場面が増えていきました。

